

唯川さん連載取材
 「高山病つらかった」
 講演会で振り返る
 金沢出身の作家唯川恵さ



ん写真Ⅱが23日、市内で講演し、北國新聞で連載して単行本になった「淳子のてっぺん」の取材でエベレストの5千付近まで登山した経験を振り返った。唯川さんは「高山病がつかかった。その部分は実感を込めて書けた」と語った。

県宅地建物取引業協会が金沢東急ホテルで開いた「『不動産の日』ふれ愛講演会」で登壇した。唯川さんは「風呂に入らず、12日間歩き続けた。どこまで行

ってもエベレストは遠かった」と話した。横浜市立大の齋藤広子教授も講演した。

平成30年9月24日（月・祝）
 北國新聞朝刊 第28面